



SIOS DataKeeper Cluster Edition

v8.2.1

リリースノート

2015年4月

このドキュメントおよびその内容は SIOS Technology Corp. (旧称 SteelEye® Technology, Inc.) の所有物であり、いかなる無許可での使用および複製も禁じます。SIOS Technology Corp. はこのドキュメントの内容に関していかなる保証も行いません。また、事前の通知なくこの出版物を改訂し、本書に記載された製品に変更を加える権利を保有しています。最新のテクノロジー、コンポーネント、およびソフトウェアを使用して製品を改善するのが SIOS Technology Corp. の方針です。そのため、SIOS Technology Corp. は事前の通知なく仕様を変更する権利を保有しています。

LifeKeeper、SteelEye、および SteelEye DataKeeper は SIOS Technology Corp. の登録商標です。

本書で使用されるその他のブランド名および製品名は識別のみを目的としており、各社の商標である場合があります。

出版物の品質を維持するために、このドキュメントの正確さ、わかりやすさ、構成、および価値に関するお客様のご意見をお寄せください。

宛先:

ip@us.sios.com

Copyright © 2014

By SIOS Technology Corp.

San Mateo, CA U.S.A.

All rights reserved

目次

SIOS DataKeeper Cluster Edition	1
はじめに	1
SIOS DataKeeper Cluster Edition v8 の新機能	1
.....	2
バグの修正	2
製品定義とプラットフォーム	3
製品要件	3
ローカルセキュリティポリシーの要件	4
既知の問題	4
SCVMM 2012	4
Windows Server 2012	4
DataKeeper Cluster Edition クイックスタートガイド	5

SIOS DataKeeper Cluster Edition

リリースノート

バージョン 8.2.1

(Version 8 Update 2 Maintenance 1)

重要!!

本製品をインストールまたは使用する前に、必ずこのドキュメントをお読みください!
このドキュメントには、インストール時とその前後に留意すべき重要な項目に関する情報が記載されています。

はじめに

SIOS DataKeeper Cluster Edition は最適化されたホストベースのレプリケーションソリューションとして Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2、および Windows Server 2008 R2/2008 R2 SP1 Failover Clustering とシームレスに連携します。Windows Server Failover Clustering の機能である、サブネットを経由したフェイルオーバーや調整可能ハートビートパラメータにより、管理者が地理的に分散したクラスタを管理するのが容易になります。SIOS DataKeeper は、両方のバージョンの Windows Clustering を拡張するデータレプリケーション機能により、共有されないディスクの高可用性構成をサポートします。

SIOS DataKeeper Cluster Edition をインストールすると、DataKeeper ボリュームと呼ばれる新しいストレージクラスリソースタイプを使用できるようになります。この新しい SIOS DataKeeper ボリュームリソースを従来の物理ディスクの共有ストレージリソースの代わりに使用することで、マルチサイトクラスタとも呼ばれる地理的に分散したクラスタが可能になります。

SIOS DataKeeper Cluster Edition v8 の新機能

機能	説明
本リリース(8.2.1)の新機能	
全体的なメンテナンス	下記の バグ修正 を参照してください。
バージョン8.2の新機能	
DataKeeper 非ミラーリングボリューム・クラスタリソース	DataKeeper 非ミラーリングボリューム・クラスタリソースでは、ユーザーは、フェイルオーバークラスタのローカルボリュームをミラーの一部とすることなく使用することができます。本機能の一般的な使用例としては、既存のハードウェア上で OS のローリング・クラスタ・アップグレードを実現したり、tempdb を SQL 2008 R2 クラスタ、および、より古いバージョンのローカルストレージに移動させることも可能です。

機能	説明
全体的なメンテナンス	バグ修正
バージョン 8.1 の新機能	
全体的なメンテナンス	バグ修正
バージョン 8.0.1 の新機能	
全体的なメンテナンス	バグ修正
バージョン 8.0 の新機能	
クラスタ外ノードへのレプリケーション	DataKeeper はフェイルオーバークラスタの外側にレプリケーションターゲットを置くことができます。
オペレーティングシステムサポート	DataKeeper は Windows 2008R2 以降の 64 ビットオペレーティングシステムのみをサポートします。以前のバージョンの Windows または 32 ビットシステム上で実行するには、DataKeeper v7 を使用してください。
Windows 2012 R2 サポート	DataKeeper Windows 2012 R2 をサポートします。
全体的なメンテナンス	バグ修正

バグの修正

以下に、最新のバグの修正および機能強化のリストを示します。

バグ	説明
3941	2x2ミラーが予期せず削除される問題を修正しました。
3952	ミラースイッチオーバーとネットワーク障害による2x1設定において、データ破損の可能性を排除しました。
3953	共通ボリューム設定において、ミラーが間違っ削除される可能性を排除しました。
3973	スナップショットが、2TBのディスクをサポートしました。
3983	マルチターゲットミラーのフェイルオーバー、またはスイッチオーバーにおけるデータ破損が発生する可能性を排除しました。
3991	OSのクラスタ機能をインストール、あるいはクラスタを作成する前にDKCEをインストールできるようになりました。

製品定義とプラットフォーム

製品要件

製品	オペレーティングシステム	追加ソフトウェア	
サーバ コン ポーネ ント	DKCE サポートマトリックス を参照	Hotfix - KB 951308 http://support.microsoft.com/kb/951308 Hyper-V リソースを保護する場合 Hotfix KB 958065 http://support.microsoft.com/?id=958065 注記: これらの Hotfix は、Windows Server 2008 R2/2008 R2 SP1 には必要ありません。 Microsoft Hotfix KB 2741477 は、VM をフェイルオーバークラスタに配置した後に仮想マシンに NIC を追加できるようにします(詳細は「 Hyper-V ホストクラスタエラー 」を参照)。	
		DKCE サポートマトリックス を参照	詳細は 以下 を参照してください。
		注記: ターゲットスナップショット機能を使用するには、Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 をインストールする必要があります。 http://www.microsoft.com/net からダウンロードしてください。	
ユーザ イン ター フェース	DKCE サポートマトリックス を参照	MMC 3.0 - こちらからダウンロードしてください。 http://support.microsoft.com/kb/907265	

注記: クラスタ内のすべてのサーバで同一バージョンの Windows を実行してください。

SIOS DataKeeper Cluster Edition をインストールして設定する前に、以下の設定を確認してください。

- **重要:** DataKeeper を実行するすべてのサーバでローカル管理者権限を持ったメインアカウントを使用することを推奨します。ローカルアカウントを使用している場合、ユーザ名およびパスワードは DataKeeper を実行するすべてのサーバで一致しなければなりません。これはすべてのエディションおよびすべてのプラットフォームに該当します。
- ファイル共有監視を設定してクォーラムモードマジョリティノードを変更するなど、Microsoft のベストプラクティスに従ってください。
- DataKeeper のフェイルオーバークラスタ登録は、各クラスタノードで起こる以下のイベントの60秒後に自動的に行われます。
 - DataKeeper Cluster Edition のライセンスを、各クラスタノードにインストール。

- o Windowsサーバのフェイルオーバークラスタ機能を、各サーバにインストール。
- o Windowsサーバのクラスタ設定を作成。

ローカルセキュリティポリシーの要件

Windowsサーバがドメイン内にない場合、DataKeeper サービスをローカルシステムアカウントとして実行する場合、ローカルセキュリティポリシー設定 [ネットワークアクセス: Everyone アクセス許可を匿名ユーザーに適用する] を有効にする必要があります。

既知の問題

SCVMM 2012

SCVMM 2012 で DataKeeper を使用する場合は、SCVMM 2012 SP1 を使用する必要があります。

Windows Server 2012

Windows Server 2012 に関連する問題および強化については、DataKeeper Cluster Edition テクニカルドキュメンテーションの「既知の問題」セクションの以下のトピックを参照してください。

- WSFC 2012 Failover Cluster Manager UI の欠陥
- WSFC 2012 の新しいファイルサーバタイプがサポートされない
- WSFC でのミラーの手動作成
- WSFC 2012 クラスタ作成 デフォルト設定の問題
- WSFC 2012 ファイル共有をファイルサーバリソースに対して作成できない
- WSFC 2012 Server Manager – 不正なボリューム表示
- WSFC 2012 Server Manager – DataKeeper 「ディスク」がクラスタとして表示されない
- Windows Server 2012 デフォルト情報がミラー作成時に見つからない
- Windows Server 2012 MMC スナップインクラッシュ
- Windows Server 2012 – クラスタ化された複数のファイルサーバの役割の同時移動が DataKeeper スイッチオーバーの失敗につながる場合がある
- Windows Server 2012 iSCSI ターゲットの役割がダイナミックディスクをサポートしない
- DataKeeper で iSCSI ターゲットを使用する

DataKeeper Cluster Edition クイックスタートガイド

SIOS DataKeeper Cluster Edition を利用するにあたって、DataKeeper Cluster Edition クイックスタートガイドを参照してください。